

芸北地域振興協議会だより

第11号

発行日：令和6年3月15日

発行者：芸北地域振興協議会

令和5年度の要望事項と回答

令和5年10月26日(木)北広島町長に、芸北地域の要望書を提出しました。令和6年1月25日付けで回答をいただきましたのでお知らせいたします。 ※要望、回答については概要をまとめて掲載しています。

要望 国道・県道の歩道等整備及び早期改良について

- ・国道186号線
- ・主要地方道 安佐豊平芸北線(増田石油～椎谷峠及び移原～枕)
- ・県道八幡雲耕線、県道溝口加計線



回答 国道186号線の歩道整備は、現在整備中の川小田・細見地区のうち川小田地区が完了見込であるため、荒神原地区について引き続き要望していくので地元地域の協力をお願いしたい。

その他の地区の歩道等整備については、道路管理者、警察、学校関係者等で実施している『北広島町通学路交通安全プログラム』の対象箇所が優先整備箇所となる。保護者から学校を通じて町教育委員会へ整備要望をしてほしい。

国道及び県道八幡雲耕線の補修及び改良は、広島県道路整備計画(令和8年度から5カ年)に整備箇所として登載していただくよう引き続き要望していく。今年度、西八幡原(善龍寺付近)、荒神橋付近の舗装補修を実施した。次年度以降は、町内各路線状況により、柔軟に対応していく。

県道溝口加計線の側溝等の堆積土砂撤去は、県から権限移譲されている路線であるため、次年度以降の対応となる。

道路の区画線の引き直しについては、広島県西部建設事務所安芸太田支所へ要望を伝える。次年度以降の対応となるため、実施時期等判明したときに連絡する。

歩道の標識設置については、町からも公安委員会へ地元要望があったことを伝える。

要望 町道等の早期改良について

- ・道路の補修及び改良、新設舗装、維持管理、施設整備
- ・広域農道、大規模林道の草刈り
- ・通学路の街灯整備
- ・林道細見大塚線の早期改良
- ・山林の維持管理に要する補助制度の創設



回答 町道細見大泊線の横断溝は、次年度撤去する方向で調整する。幅員狭小箇所があり大型車両通行止めとなっている路線については、幅員拡張の予定がないため解除しない。町道杉谷線、町道山根迫線の除雪については、芸北地域の林道などの生活道路線ではない路線は除雪を行っていない。町道で除雪をしていない詳細な区間を教えてください。

町道奥中原苧屋形線の新設舗装は、当面実施する予定はない。

町道溝口大朝線は、令和元年度に2車線での改良は実施できないことを説明している。平成29年度～令和3年度まで毎年豪雨災害が発生し、被災した箇所の復旧を優先したことにより、新町建設計画で整備予定とした各路線の改良整備は、一部を除き現在凍結中である。当分の間凍結解除の予定はない。

その他の路線について、令和6年度に町内の1級2級町道の舗装状況を調査する予定である。調査結果の路面状況により優先順位をつけ、計画的に舗装修繕を実施していく。また、白線の引き直しについては、次年度以降での対応を予定している。

広域農道の草刈りは、本年度も一部区間で実施した。来年度以降も状況に応じて草刈りを実施する予定だが、地域にも何らかの形でご協力いただきたい。

大規模林道大朝・鹿野線の草刈りについては、限られた予算の中での対応となるため、路線毎の状況に応じて対応していく。地域協働についてご検討いただきたい。また、冬期間通行止め標識の設置については次年度以降での対応を検討している。

通学路の街灯整備については、街路灯・防犯灯は既設電柱への設置が基本であり、要望箇所区間は無電柱区間があり設置は困難である。防犯灯の設置補助を活用し、地元での対応を再度お願いしたい。

林道細見大塚線の早期改良については、次年度以降での対応を検討している。

山林の維持管理に要する補助制度の創設については、山道の状況により域施工支援事業が活用できる場合があるので建設課農林土木係へ、搬出計画がある地域の山道に関しては農林課林業振興係へ相談してほしい。

要望 河川の浚渫について

回答 県管理河川においては、予算の範囲内で状況に応じて河川内堆積土の除去を実施している。地域からの要望箇所が多い状況もあり、町としても引き続き県予算確保を要望していく。町管理河川については、芸北地域の河川内堆積土除去を計画の中で、俵原川を最優先箇所として計画している。



要望 俵原川(荒神地内)の氾濫防止対策について

回答 10月に芸北ホリスティックセンター横の護岸の嵩上げ工事を発注し契約している。計画延長=30m、嵩上げ高=70cmの予定。

要望 公共施設の補修等について

- ・高原の自然館前の公衆トイレ
- ・旧雄鹿原小学校体育館
- ・旧雲月小学校及び校長住宅
- ・清流の家及び美和東文化センターエアコン設置、火災通報装置の取り替え
- ・文化ホール前の駐車場
- ・芸北中学校正面玄関の落雪対策



回答 芸北高原の自然館前の公衆トイレは、県が所有する臥竜山麓八幡原公園内に属する施設であり町は管理受託している。施設の老朽化に加え構造上冬期間の使用を見込んでいないため冬期間は閉鎖としている状況である。県へ要望しているが前向きな回答ではない状況であるが、引き続き要望を行っていくとともに、隣接する自然館の利活用も含め利便性の向上を検討していく。

旧雄鹿原小学校体育館等の公共施設の補修は、緊急性等を考慮しながら優先順位をつけて実施しており、即時的な対応が困難な状況である。今後は、他施設の利用をお願いしたい。

旧雲月小学校等の公共施設の解体は、緊急性等を考慮しながら、優先順位をつけて実施しており、即時的な対応が困難な状況である。旧雲月小学校は、民間活用を考えている。解体については、施設が大きいため莫大な解体費が考えられ、すぐに要望に応えることは叶わないが、町として重要な案件と考えている。しばらく時間をいただきたい。

交流施設のエアコンの設置については、熱中症対策やコロナウイルス感染拡大防止対策として、他地域からも要望があがっている。現在、集会施設の在り方について地域と共に検討を行っており、それを踏まえ、集会施設全体で優先順位を決定し、活用可能で有利な補助制度を活用し整備を検討していく。火災通報装置については、現在のNTT回線で使用可能であるため、今後更新が必要となった際にデジタル対応を検討する。

文化ホール前の駐車場については、補修工事の実施に向けて検討している。工事時期の決定についてはしばらくお待ちいただきたい。

芸北中学校正面玄関の落雪対策について、当面玄関屋根増設の計画はない。除雪や融雪剤による落雪対策や注意喚起を行い、生徒の安全確保を図っていく。

要望 山県製鉄所大暮工場跡地の煙突修繕と維持管理及び看板の修繕について

回答 煙突は、経年劣化による崩れなどを確認している。観光客等の安全確保のため現在は立入禁止にしている。施設の在り方を含め、手法を引き続き検討する。

案内看板は、景観保全の観点から劣化が激しい物は撤去を考えている。



要望 養豚農場の臭気対策強化について

回答 臭気問題は小原地区にとって大きな問題であると認識しており、長年、地元・事業者・町の3者による会議を開いている。モニタリング調査でのデータを集計後、3者会議で協議し、事業者に対策を講じてもらっているが、未だ臭気の発生が抑えられていない。調査で得られた結果から臭いの傾向を分析し、有効な対策に繋げていきたいと考えている。

一方、一向に臭気低減に至っていないため、訴訟を辞さない気持ちでおられる事は理解できる。昨年度、民事訴訟に比べて簡易な広島県公害審査会の事を伝えたが、当事者の話し合いによる解決を目指すものの、双方納得いくまで2~3年かかる場合もあると聞く。そのため、引き続き3者による会議を定期的に行い、信頼関係の再構築を図り、改善につなげることが大切であると考えている。町としてはこれまで同様、悪臭防止法の基準値を超えた場合、事業者に適切な対策を講じるよう指導を行っていく。

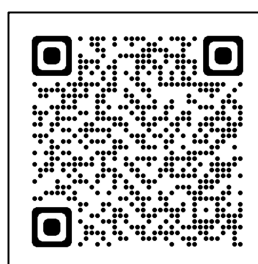
畜産(養豚を含む)家畜排せつ物については、家畜排せつ物法に基づく管理基準を守る必要がある。県畜産事務所及び農林課、環境生活課、芸北支所等の関係機関と連携しながら対応していく。

要望 千代田芸北間を繋ぐバス便の協議について

回答 町内には、加計高等学校芸北分校、千代田高等学校、新庄高等学校の公立高校2校、私立高校1校の3校の高校がある。通学時間帯の路線バスは、大朝・豊平方面から芸北分校への便、大朝・豊平方面から千代田高校への便が運航している。公共交通として、公立高校のない地域から公立高校へ通学できるように路線バスを運行している。少子高齢化と自家用自動車の普及により、公共交通の利用者は減少しており、町内の公共交通の利用者も減少傾向にあり、バス路線を増やすことは難しい状況にあるが、今後の課題として検討していく。

「芸北地域振興協議会 告知看板」の設置

昨年12月に、芸北支所前の郷の館の隣に告知看板を設置しました。この看板は芸北地域内の出来事をお知らせしたいとの思いで設置しました。大会等の結果のお知らせ、芸北地域振興協議会からのお知らせ、イベント等の告知などの掲示を考えています。地域の皆さんにもご活用いただきたいと思っています。



←こちらへアクセス!!
芸北地域振興協議会
HP「芸北の空」へ申請書等がありますのでご利用ください。

総務部会活動報告

総務部会長 入澤 敏貴

コロナもようやく落ち着き、日々の生活を送れるようになりました。総務部会の活動も今年度は計画を何とか予定通り進めることができました。その中でも、町長への要望の中で、少しですが前に進むことが出来たという手応えを感じられたことが大きな収穫だったのではないかと思います。今後も継続して進めることが重要な事だと考えます。そして、地域の応援看板が設置できたことが大変嬉しく、皆さんにどんどん活用していただき、芸北を大いに盛り上げていただければと思います。

事業部会活動報告

事業部会長 鉦口 雅之

今年度は、コロナも5類に移行して、芸北高原秋まつりもステージイベントだけでなく、地域の方々や芸北分校の生徒の皆さんにバザーを出店していただき、盛大に開催することができました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

来年度は、更に芸北地域が明るく元気が出るような新たな事業に取り組みながら、皆さんと一緒に芸北を盛り上げていきたいと考えています。

今後とも事業部会の活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。